

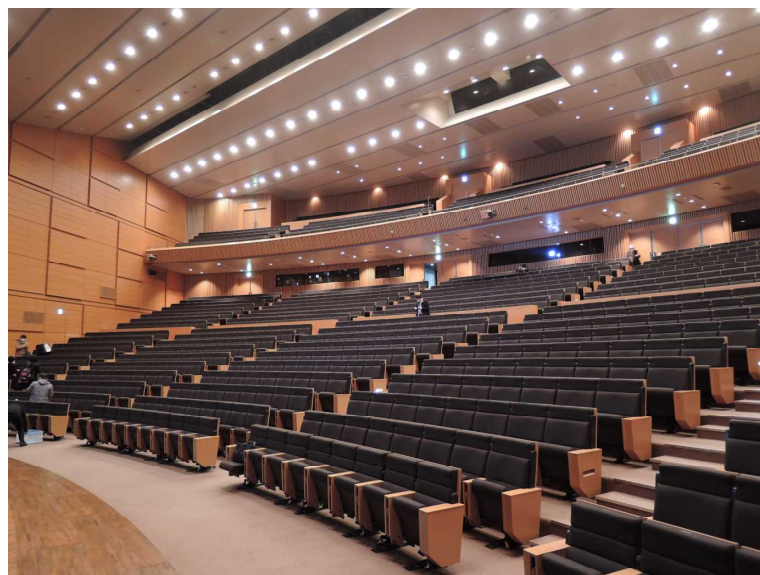


並木中等story

令和5年2月22日号

抵抗する気持ち

今日は水島恵一先生の『自己探求と人間回復』（大日本図書）に書かれているものを紹介します。皆さんは“ありのままの自分”を表に出すことはできますか。私は中高校生の頃はなかなかできなかったと思います。少なくとも、“抵抗”を感じていました。自分のことを表現する場面になると、本当なことよりもかっこをつけた話をしたり、沈黙をしたり、怒りっぽい言い方になったりしていたと思います。なぜ、このようになるのか？先生によると、これは防衛的な構えであり、自我防衛機制の表れだそうです。誰でも、



国際会議場 SSH 成果発表会会場

いくらかの自分を留保しておきたいのです。本当の自分を殺し、仮面の社会生活を送っているため、自分が暴かれることに抵抗があるのです。

しかし、この抵抗を感じることは“自然な働き”だそうです。先生は「人は少しずつ抵抗を破ることを通して、相互の信頼関係を発達させる。」と話しています。いろいろな経験を通して“抵抗”を破ることにより、集団のありのままの姿が分かったり、物事の本質が見えてきます。無理なく抵抗を乗り越えてください。

《祝 全国総文祭東京大会自然科学・化学部門 奨励賞受賞！》

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会の自然科学部門化学部門において、5年次の三浦さんが奨励賞を受賞しました。

なお、三浦さんは日本植物学会第86回大会高校生研究ポスター発表においても優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。